

主役は三玉っ子

山鹿市立三玉小学校
児童数:132人
文責:校長 吉田 公雄
令和8年5月14日(第3号)



学校教育目標:ふるさとを愛し人間性豊かでたくましい児童の育成
学校経営方針:一人ひとりが輝く 子どもが主役の学校

子どもが主役の全校集会 ~運営委員会~

全校集会は毎月体育館で行われている集会で、内容は「校長講話」と「生徒指導主任による月の生活目標」の話です。子ども達は聞き役になる時間です。子どもが主役の学校づくりを進める三玉小はそのやり方を変えました。

5月の生活目標は「笑顔で先取りあいさつ」です。そこで、運営委員会がタブレットや寸劇を通して「自分たちがめざすあいさつ」についてまず発表しました。集会で教師が伝えるのではなく、子どもたち自身が伝えていく形に変えました。張り切って伝える運営委員会のみんなは緊張しながらも一生懸命でした。子ども達もしっかり聞いてくれていました。このあいさつが実現していったら、子ども達の自信につながります。こんな子どもが活躍する場をどんどん増やしていきたいと考えています。

子ども達の発表の後には生徒指導主任の高本先生が子どもたちの発表を褒め、フォローしてもらいました。そしてその後の私の校長講話で子どもたちの活躍の素晴らしさをそのまま伝えました。ありがとう、運営委員会のみなさん。



子どもを主役にしていくにはそれまでの丁寧な支援が必要です。運営委員会の高木先生の支援があり、子どもの活躍があります。子ども達が自分たちで伝えてくれた今月の生活目標、是非「三玉の宝」していきたいと思います。保護者の皆さまの応援をお願いします。

p s : 子どもたちの活躍を応援するために「主役は三玉っ子」を大きく書いた新しい登り旗を10旗作成しました。学校内外に立てていますので是非ご覧ください。



低学年の中庭に「新ジャンピングボード」登場!!

三玉小の低学年教室横には上履きそのまま行ける素敵な中庭があります。鉄棒があり、1、2年生がいつも楽しく遊んでいます。そこに縄跳びの補助をするジャンピングがありました。劣化していても弾まなくなっていました。私が「ジャンピングボードがあったら縄跳びしたい?」と聞くと「したい、したい」とみんなが言いました。そこですぐに私の友人の大工さんに連絡をし、安価でジャンピングボードを5台、製作してもらいました。新しいジャンピングボードがくると、子どもたちは10分の休み時間でも中庭に出てきて、縄跳びを楽しんでいます。低学年でも前飛びに加え、あや跳び、交差跳び、二重跳びなどの様々な技に挑戦し、「校長先生、見ていて」と張り切って跳んでくれます。毎日楽しみながら跳んでくれたら、今年の縄跳び大会が楽しみになってきました。

10分間の休み時間にも子ども達はにこにこ笑顔で元気いっぱい跳んでいます。



1年生を迎える会(5月1日)~1年生の元気な挨拶と6年生の楽しい企画~



5月1日「1年生を迎える会」が体育館でありました。終始温かいムードで行われました。最初は1年生14名の自己紹介、みんな元気いっぱい素晴らしかったです。次は5年生からのメダルプレゼント、4年生からの校歌シートプレゼントでした。そしていよいよ6年生の出番であるレクリエーション。さすが6年生、みんなで力を合わせて会場を盛り上げてくれました。最後は縦割り班での校内クイズラリー、6年生の企画力に感謝、感謝です。



校長室より

今年の三玉小の学校経営の中心は「子どもが主役」「主役は三玉っ子」です。全校集会のスタイルを変えたこと、新しい登り旗を作ったこともその一つです。そんな子ども達をリードするのが6年生、1年生を迎える会の6年生は最高でした。自信にしてほしいと思います。そしてそんな子ども達を全力で支援している先生方に感謝です。